

7/31(土) 前夜祭

山車の展示と
お囃子実演

午後6時～9時…八戸中心街
(市庁前広場・廿三日町・十三日町・三日町)

8/1(日) お通り

神輿と山車の
合同運行

午後3時…市庁舎前(内丸)出発

8/2(月) 中目

8月2日は山車の合同運行は行いません。

山車の展示と
お囃子実演

[市庁前広場]
昼12時～午後8時(お囃子午後5時～)
[まつりんく広場多目的施設]
午後1時～4時(お囃子 随時)

長者山新羅神社例祭

午前11時…献幣使参向

おがみ神社例祭(雅楽演奏等)

午後1時～2時

加賀美流騎馬打毬・徒打毬

午後2時～4時…長者山新羅神社

おまつり広場2010

午前11時～午後9時…市庁前広場

8/3(火) お還り

神輿と山車の
合同運行

午後3時…鍛冶町(長者山下)出発

おまつり広場2010

午前11時～午後9時…市庁前広場

8/4(水) 後夜祭

山車の合同運行

午後6時…市庁舎前出発

おまつり広場2010

午前11時～午後9時…市庁前広場

まつりの興奮をご家庭へ
テレビ放映決定

RAB 青森放送
8月7日(土) 午後2時～2時55分
8月12日(木) 午前10時～11時25分(再)

ATV 青森テレビ
8月16日(月) 午後2時50～4時15分

八戸テレビ放送[生放送]
8月1日(日) 午後3時～運行終了まで
※全国放送は午後5時まで
8月4日(水) 午後7時～運行終了まで
※状況により変更の場合あり

日本宮名城
国史跡

根城の広場

～復原された中世の城～

【開場時間】 9時～17時 (入場は16時30分まで)
【休 場 日】 月曜日 (第1月曜日は除く: その日が祝日の場合は翌日)
祝日の翌日、年末年始 (12月27日～1月4日)

「三社大祭展」開催中
八戸市博物館

根城の広場とあわせて、
ぜひご覧下さい

7/17 ▶ 8/29

史跡根城の広場 八戸市大字根城字根城 47
(八戸市博物館となり)
TEL: 0178-41-1726 FAX: 0178-41-1756

八戸三社大祭 公式ガイドブック

7月下旬発売
定価500円(税込)



八戸三社大祭

約二九〇年の歴史と伝統

開催期間 2010
7/31(土) ▶ 8/4(水)

八戸三社大祭について

八戸三社大祭は、神明宮・おがみ神社・新羅神社の神輿行列に附祭として氏子の山車をお供をする豊作加護、報恩のまつりです。享保6年(1721)におがみ神社が神輿行列を立立て、長者山のお社に渡御したことに始まります。「山車」の形態も、最初は有力な商人が店先に人形を飾っていたものが、やがて屋台に載せて神社行列にお供をするようになり、大きさ、からくり操作など時代の流れの中で徐々に現在の形へと移り変わってきました。行列には、神楽、稚児行列、甲冑武者、虎舞、そして華屋台なども加わり、見るもの目を楽しませてくれます。

2010年 八戸三社大祭 山車題名&場面説明

まつりの見所

【7月31日 前夜祭】18:00~21:00

中心街・市庁前広場

出来上がった山車の「お披露目」的な前夜祭。暗くなる頃は山車もライトアップされ、前夜祭は最高潮に。中心街に17台、市庁前広場に10台の山車が勢揃いします。

【8月1日 お通り】15:00

市庁前(内丸)出発

神明宮、おがみ神社、新羅神社の順に厳かな行列が行われ、それぞれの神社行列-氏子山車といった順で連なります。神社の稚児行列と神楽、虎舞、江戸期の屋台山車、騎馬行列とともに、工夫をこらした自慢の山車絵巻27台、そしてしんがりを務める「華屋台」をお楽しみください。

【8月2日 中目】

市庁前広場:12:00~20:00

まつりんぐ広場:13:00~16:00

前夜祭と同じ形で山車が集結。この日が長期とばかりに打ち鳴らされるお囃子にも力が入ります。この日はどこかの山車の上で太鼓を叩くことができるかも。市庁前広場に9台、まつりんぐ広場に3台の山車が勢揃いします。

◆加賀美流騎馬打毬・徒打毬 14:00

長者山新羅神社の桜馬場で行われるもので、江戸末期の文政10年(1817)に武芸奨励のため当時の八戸藩主が新羅神社社務の奉納として始めたといわれています。狩り装束をまとった馬上の騎士が紅白の組に分かれ、それぞれ四つの玉を追う競技です。礼を重んずる武士道を基調とした厳格な古典スポーツと言えます。現在、宮内庁と山形県にだけ残されています。

加賀美流の呼称は南部氏の遠祖である加賀美次郎遠光の創設によるものといわれます。徒打毬は少年が馬に乗らずに行う、さながら「ミニ騎馬打毬」といえます。

【8月3日 お祭り】15:00

鍛冶町(長者山下)出発

8月1日の行列で新羅神社に到着したおがみ神社神輿がこの日に帰還することから「お祭り」行列と呼ばれます。神明宮、新羅神社、おがみ神社の順で神社行列と山車の運行が行われます。

【8月4日 後夜祭】18:00~

市庁前広場出発

夜間合同運行は山車27台だけの運行となります。ライトアップされた山車が運行する様は正に圧巻。夜間の合同運行を目当てに来る観光客も近年増えています。

【おまつり広場2010】

◎市庁前広場

8月2日(月)~8月4日(水)(11:00~21:00)

「ステージイベント」

松田隆行・タカチャ・ものいい・エハラマサヒロ

『お化け屋敷』(入場料300円)

『緑日広場』

『飲食ブース』(40を超えるブース)

お問い合わせ:0178-22-5501

【山車のからくりはどこまで?】

山車の大きさは高さ4.5m⇒10m、巾は4.5m⇒8mになります。「せり上がり」「開き」は電線の無い、巾の広い道路で行われますが、行列の流れによっては、ご期待に添えないこともあります。

【八戸城角御殿表門の開門

・南部会館無料休所開設】

7月31日(土)~8月4日(水) 10:00~21:00

お問い合わせ/南部会館 TEL.0178-43-9202

◆神明宮

【廿六日町山車組】

桃太郎 凱旋 ~勝どき~

みなさん御存知の日本を代表する童話、「(日本一)桃太郎」。どんぶらこと流れてきた大きな蛇から生まれた桃太郎。お伴の犬彦・猿彦・雉彦を家来に連れ、「いざ鬼ヶ島」へと鬼退治。日本一のみび子をつ一つ食べれば百人力。一度に攻めて攻め破れ残らず退治です。全体の場面は鬼らの分捕物を取返し、1万5千歳、1万5千歳、見事勝どきを上げ、故郷に帰って来る凱旋の場です。

【新荒町附祭若者連】

北松斎 花巻城攻防戦

慶長4年(1599年)北信愛は南部信直公が亡くなり利直公に仕えることになると判明し名を北松斎と改めます。翌年、関ヶ原の合戦が始まると、南部家は徳川軍につき、松斎は花巻城から利直公とともに四千の兵を率いて会津攻めに参加します。すると伊達正宗の謀略により、和買勢が花巻城を攻撃してきました。敵はわずかに500余り、しかし城はもぬけの殻同然、それを知った松斎はわずかに十騎の手勢で城へ戻りこれを撃退したといわれます。このとき城の門前に住んでいた松子と浦子の2人の娘が城にかけつけ、共に戦ったといわれています。若当益北松斎、77歳のことで。

【上組町若者連】

日本昔話

昔話の代表作ともいえる、桃太郎・金太郎・浦島太郎を1つの山車に載せます。右回転部は金太郎、左に浦島太郎、せり上がりは桃太郎となります。毎年高野中心に山車作りをしています。今年も八戸の子供たちの健やかな成長を祈って、この題材を選びました。場面は、浦島太郎は乙姫さまと別れの場面、桃太郎は鬼退治、金太郎は龍の滝昇りの場面です。

【根城新組山車組】

南部政経 蟻崎蔵人討伐

根城南部家十三代南部政経の時代慶長三年の頃下北半島で大きな事件が発生しました。「蟻崎の乱」と呼ばれる争い。場面は政経が蟻崎の館帯城と呼ばれる大銀をつぎこんで築かれた城に火矢を放って焼けおす場面と、蟻崎が「アイヌ」の船に乗ってエソノへ落ちるのび行く場面です。

【賣市附祭山車組】

天下無双の傾奇者前田慶次「小田原陣攻め」

前田慶次は太閤秀吉から「傾奇者免」の免許を受けた傾奇者として知られています。太閤秀吉は關東の北条氏を滅ぼし、天下を治めようとする大群で小田原を攻めました。前田慶次は多くの武士と共に小田原征伐へ参加します。山車は前田慶次の無二の親友、直江兼続、真田幸村、奥村助右衛門、そして秀吉に降伏した伊達正宗を配置し、天に愛された武士退陣させる場面を製作いたします。

【吉田産業グループ山車組】

頼光四天王 坂田金時

坂田金時は、源頼光の四天王の一人で幼名は、誰でも知っている金太郎。山神に仕える山姥と雷神の子として生まれ、成長した金太郎は、源頼光に出会い、家来となって活躍しました。山車上段は、金時と山姥、雷神。また金太郎は五月人形の題材にもなることから縁起を担いで一富士二鷹三茄子を合わせて配置し下段は、歌舞伎や能の題材になっている大江山の鬼退治、羅生門の鬼退治、葛城山の土蜘蛛退治の伝説の3場面を製作、配置しました。

【白山台山車組】

坂上田村麻呂 陸奥の国・霧山の鬼征伐

昔、伊弉の鈴鹿山に大嵐丸と言う鬼神がいました。鈴鹿山を拠点とし、この鬼は散々悪さを行った。帝は坂上田村麻呂に大嵐丸を退治せよと勅命を下しました。田村麻呂は鈴鹿山を駆け回り千手観音や毘沙門天の御加護を受け、見事、大嵐丸を打ち取りました。しかし宝剣によって呼び戻された大嵐丸は肉体を再生させると、陸奥の霧山(青森県)に城を築き、再び世を乱しました。田村麻呂と鈴鹿山前には大嵐丸討伐の為に陸奥に向かい、征伐します。

◆おがみ神社

【塩町附祭組】

えびす・大黒 祝の舞

祝いの舞や祝いの舞を華麗な女性が美しく舞っていました。えびす様と大黒様が大船に乗って寛いでいた所向うが見えるなど思い近くによって来てほしいように恋している場面です。今の世の中暗い話が多いので八戸三社大祭を見に来る方や参加して頂いた方が幸せになって頂きたい祝の舞を題材にしました。

【山下附祭】

新・かくや姫

「かくや姫」の物語はご存知の通り、「竹取物語」の名で知られる光輝く竹の中から現れて、竹取の翁の夫婦に育てられるかくや姫の物語です。今年の城下附祭の山車は、この「竹取物語」から題材を取り上げ、美しく育ったかくや姫が使者の使者を迎え入れて山に旅立つ場面に併せて、かくや姫に結婚を求めた公家達がかくや姫から与えられる無理難題に奮闘する場面を構想したものです。公家達が難題に立ち向かう事は附祭の物語では無かった場面であるが、「火鼠の巻」を求めて火鼠に立ち向かう「右大臣 阿部御主人」と、「龍」の巻」を求めて龍に立ち向かう、「大納言 大伴御行」の場面を併せ上げました。

山車上部は天界に使者連に連れられる「かくや姫」、山車下部は火鼠に立ち向かう「右大臣 阿部御主人」と龍に立ち向かう「大納言 大伴御行」の場面です。その他、山車の上半分は空の場面、下半分は、他界での場面となる構図としています。

は火鼠に立ち向かう「右大臣 阿部御主人」と龍に立ち向かう「大納言 大伴御行」の場面です。

【下大町附祭】

【下大町附祭】

【下大町附祭】

【下組町山車組】

女知盛

女知盛、舟弁慶の話を山車に見映えを考えて主役の亡霊を女に変えて、歌舞伎役者澤村藩十郎が宮高新歌舞伎に公演した澤村藩子道成、別名女知盛の趣向を山車に加え迫力に妖艶さをプラスした華麗な山車のように制作してみました。山車は中央に大きな龍が現れ義経主従の船が渡波にもまれ、主役の知盛をはじめ平家一門に襲われている場面です。

【青山会山車組】

生きた伝説 英雄・源為朝 一番戦・昇天への道

山車は2つの伝説を取り上げその中でも最も有名な月彦の場面を両回転・中段・上段ステージに配置し、虎をも蹴散らす剛力と言われた為朝が輝天丸・玉女と共に最後の敵・聖堂と一番戦いの戦いを終え昇天をする為朝という場面です。正面ステージは今迄伝説芸術として残る黒雲山のおちろ退治。黒雲山龍が生霊に化けた万寿姫を喰らおうとする中、為朝と後藤高宗が刃と刀を持って退治する場面です。

【新井田附祭振会】

加藤清正 猛将伝

1592年から7年間、朝鮮出兵した時の加藤清正の伝説を山車にしました。清正の陣内に朝鮮兵が頻りに現れたのを退治したのが、有名な「清正の虎退治」の伝説となりました。小姓上左衛門を囃し殺した大虎や、陣内に攻めさせた朝鮮兵との戦い、朝鮮水軍の鬼甲船を操る李舜臣軍との戦いなどを、迫力溢れる様に、清正や家臣や虎を数多く山車全体に配置しました。

【柏崎新町附祭】

六昆王 山田長政

江戸時代前期にシャム(タイ王国)の日本人町を中心に東南アジアで活躍した人物。後に朱印船でタイ王国アユタヤの日本人町に上陸、日本人傭兵隊に加わり、頭角を著しアユタヤ郊外の日本人町の頭領となりました。アユタヤ王朝のソムナム国王の信任を得て、第3位身分のオークヤー・セーナード・ビムクという官位を授けられて1630年に南タイのタイゴールに王に任ぜられました。1630年に隣国との争いが生じたときに王に受けた傷に毒を塗られて亡くなりました。山車は凱旋の場です。

【淀山車組】

(夢)七福神・幸せの奏

郷土八戸の発展を祈願して題名を付けました。今年の山車は創作の縁起物を集合させた祝いの山車となりました。山車の上段では主役である七福神7人が、家内円満・商売繁盛・豊年満作を祈願し現れ、それに併せて山車下段では美女達が幸せを願う雅楽を奏している縁起の良い創作の場面を山車に表現しました。

【内丸親睦会】

歌舞伎十八番「関羽」

関羽といえ「三国志」ですが、日本伝説の歌舞伎で上演されて「関羽」を是非、製作したいと思いい題材として取り上げました。関羽は中国の豪傑として知られ、関帝として中国の道教として祀られています。その関羽が景況の芝居に出くると一向に江戸時代の観客には大受けとなり、歌舞伎十八番の一向に数えられる事になったといわれています。芝居の中では、関羽といふことになった。そして悪七兵衛景清は張飛、熊谷連太郎は劉備となり、世を平安に導くと宣言します。そして、関帝・三人兄弟の命を奪い、三人の英傑は、南都東大寺へと出陣する事となります。

【朔日町附祭】

義経地獄破り~源平の猛者、閻魔王を捕らえる~

生前の殺生により地獄に墮した義経主従。義経と弁慶は、永遠に繰り返される修羅道に苦悶を耐えかねて謀反を計画します。先祖である源頼朝や源為朝だけでなく、生前敵討士であった平家の兵とも味方に加え義経軍を結成。地獄の門を破り、三途の川を渡り、さらには閻魔王を守る酒吞童子や茨城童子を鬼退治を次々と打ち倒します。ついに閻魔王を捕え、そこに義経と弁慶を樹立。英雄達が地獄の鬼を相手に大勝する、痛快な場面です。

【十一日町龍組】

参加百二十年記念「神話 海彦山彦物語」~豊漁作祈願~

漁をする兄海彦、狩りをする弟山彦は、ある日互いの道具を交換します。やがて山彦は、海彦の大事な釣針をなくしてしまいました。山彦は、海彦へ行き海彦の魚籠り比売の鯛の網に掛って、いた釣針を買い、更に潮の干満を操る二玉を買い、里へ戻り海彦から教わった呪文を唱え釣針を返します。すると海彦は不作となり、山彦の豊作を祈り攻められます。山彦は二玉で潮攻めし降伏させます。海と山で開かれた御「八戸」の豊漁満作を祈願した山車です。

◆新羅神社

【六日町附祭若者連】

紅蓮炎上 本能寺

天正10年(1582)6月2日未明、軍馬の響きで京の町にとどろきました。「敵は本能寺にあり」明智光秀率いる1万3千の軍勢が、主君織田信長が泊まっていた本能寺に襲いかかりました。「是非に及ばず」謀反の主が光秀であることを知った信長は、自ら矛を持ち槍を取って防戦奮闘、しかし、もはや勝目が無いことを悟ると、森蘭丸に命じて本能寺の火を放ちます。信長の無念さを現わすごとく寺を覆いつくす紅蓮の炎の中、信長は天下一統を目前に自害して果てます。

【類家山車組】

北宋三遂平妖伝

平妖伝は、中国、明の末に成立した小説の一つ。水滸伝や西遊記と同様、民間の語り物から生まれたと考えられています。日本には、江戸時代に伝わり、漢訳馬琴が深く傾倒したことで有名であります。中国は宋の時代、天界の秘伝書「如意宝冊」を会得した老狐とその息子、娘の3匹の狐が明天武后の生まれ変わりである軍人とともに反乱をおこします。山車は反乱を起こすも、朝廷軍や天界の武神九天玄女などに討伐される場面と、道士たちによる妖術合戦による、2場面の構成です。

【十六日町山車組】

天下の大泥棒「石川五右衛門」

むかし、石川五右衛門へへる大泥棒がいたのだ。ある時、五右衛門は太閤秀吉さまのお城のしやちほぼおぼくで考えたんだ。五右衛門は手手下お城さびび込ませ、自分はお城さびび込ませて、やうやう空き舞い上がったんだ。お城ではサア秀吉さまど加藤清正どがはてきて、上ば見上げだんだも、どうすることもできなかつた。どっちはらい。

【鍛冶町附祭若者連】

星見八幡

星見八幡

上段中央に主役・伏姫と八丈士のひとり、少年犬江親助が立っています。脇にいるのが見家家の敵、藤田素直(向かって左)と玉碎(右)で、正邪を対比させました。中段は、芳流庵で大塚力と大塚親八が戦う場面。ほかに、女芝居の一座で女装して踊る犬塚野郎、信乃の義弟・大庄助、白拍子で討取る犬村大角(向かって右回転)相撲強い巨漢、大田小文吾(左回転)と、八丈士の活躍を紹介しました。

【八戸市職員互助会】

歌舞伎舞踊・壽菊薫緑羽衣

この舞踊は一族と故人の遺徳を称える祝祭歌舞伎であります。天界の月宮殿の庭園には数多くの菊が咲き乱れ舞合せの宴が開かれ天女天女を従えた天宮が鎮座し、壽菊を作り舞っています。そこへ東西南北守護の神、白狐、青龍、朱雀、玄武が菊の宝物を推し返して現れました。又、宿願の星子も姿を現し天帝の長寿を祝い連舞となります。天帝は喜び一同に慶賀、菊衣を授け一族繁栄と幸福を祝って幕となる。天皇御一家に見立てるの場面であります。

【吹上山車組】

ヤマトタケル

八戸の生んだ歌舞伎役者、市川笑也が注目を集めた「スーパー歌舞伎・ヤマトタケル」を基に創作。帝に命ぜられた小碓命(ヤマトタケル)が、熊襲・蝦夷の征伐に勝つ。息吹山の山神退治にも成功する場面。主役は自らも深く傷つ大和に帰ろうとすることを誓ったタケルの魂が、御殿が築かれた志貴の里から、白い鳥となって大和に飛び上る場面。さらに、走れに愛を貫く弟橘公入水、以上4場面を山車で表現します。

【八戸共作連山車組】

桃太郎凱旋の場

今年には、平成5年に作り出した山車も安全、安心を考えた場合、不安なこともあり新しく横3m20cm長さ7m高さ4m20cmの山車を作り替え、昭和30年代の二重櫓干(伝統山車)山車、日本の代表的な童話の一つ桃太郎が鬼ヶ島の鬼を退治し沢山の宝物をお土産に、さき、きいぬをお供に凱旋する場面と迎えるお祖父さん、お婆さんの場面です。

【棟架附祭組】

浦島太郎を見送る乙姫さま

今年のは、平成5年に作り出した山車も安全、安心を考えた場合、不安なこともあり新しく横3m20cm長さ7m高さ4m20cmの山車を作り替え、昭和30年代の二重櫓干(伝統山車)山車、日本の代表的な童話の一つ桃太郎が鬼ヶ島の鬼を退治し沢山の宝物をお土産に、さき、きいぬをお供に凱旋する場面と迎えるお祖父さん、お婆さんの場面です。

【長横町梓組】

女・七福神と十二支観音

今年の山車は創作の縁起物を集合させた「女・七福神と十二支観音」。主役は七福神の持ち物を持った美女七人、そして美女の題材には十二支の守り玉尊である千手観音菩薩、虚空蔵菩薩、文殊菩薩、普賢菩薩、勢至菩薩、不動明王、阿弥如来を配置しました。

7月31日(土) 前夜祭

山車展示時間 / 18:00~21:00

前夜祭会場

8月2日(月) 中日

市庁前 / 12:00~20:00 まつりんぐ広場 / 13:00~16:00

※8月2日(月)は山車の合同運行は行いません
山車は展示のみとなります



8月1日(日) お通り

合同運行開始時間 / 15:00



合同運行経路・会場図

※経路上の時間は通過時間の目安です。

8月3日(火) お還り

合同運行開始時間 / 15:00



8月4日(水) 後夜祭



合同運行開始時間 / 18:00



八戸市街地周辺の交通案内

大変ご迷惑をおかけいたしますが、祭り期間中は八戸中心街周辺の道路に混雑が予想されますので、山車運行経路図・交通規制図を参考の上、各迂回路掲示板及び警察官の指示に従って通行して下さいようお願いいたします。

凡例

-  通行可能な道路
-  まつり運行中の車両通行禁止道路

酒酔い運転は犯罪です



**バス・一般車
有料臨時駐車場**
(長根運動公園)
7月31日～8月4日
9:00～21:30
バスのみ要予約/TEL0178-41-1661

交通規制についてのお問合せは下記へご連絡ください。

- 八戸市観光課
TEL0178-46-4040
- 八戸三社大祭運営委員会
(社)八戸観光コンベンション協会
TEL0178-41-1661
- 観光案内専用
■はちのへ総合観光プラザ
TEL0178-27-4243

八戸市・八戸警察署・八戸観光コンベンション協会